

#### 核心地域(コアゾーン)

特にすぐれた自然環境でほとんど 人間が手を加えていない地域

面積:10,139ha

### 緩衝地域 (バッファゾーン)

核心地域の周辺部の緩衝帯としての 役割を果たす地域

面積:6,832ha

活令や条例に	こ基つく規					
指定	白神山地世界自然遺産地域					
(法令名)	核心地域	緩衝地域				
白神山地自然環境保全地域 (自然環境保全法)	特別地区/野生動 植物保護地区	普通地区				
津軽国定公園 (自然公園法)	特別保護地区	特別地域				

青森県

管理者

環境省 (1992年指定)

秋田白神県立自然公園

特別地域

秋田県

(秋田県立自然公園条例) 津軽白神県立自然公園

特別地域

(青森県立自然公園条例) 白神山地森林生熊系保護地域

(鳥獣保護法)

禁漁区

青森県

(長官诵達国有林野管理経営規程) 国指定白神山地鳥獣保護区

保存地区

保全利用地区

林野庁 (1990年指定)

環境省 (2003年指定)

普诵地区

青森県 秋田県 文化庁

(漁業共同組合遊漁規則) 天然記念物 (文化財保護法)

特別天然記念物:ニホンカモシカ 天然記念物:クマゲラ、イヌワシ、ヤマネ

遺産地域内の各河川全域:禁漁区

### 白神山地世界遺産地域モニタリング計画

#### 関係行政機関は、

- ・大学·研究機関、その他の学識経験者などと連携して 自然遺産のモニタリングを推進する
- その結果に応じて保全方法や利用方法の見直し等を行い、より効果的な手法により遺産地域の保全管理を行う

- ・今後10年程度において、関係行政機関等が実施する モニタリング目標、モニタリング項目、評価指標につい て規定する
- ・モニタリングに関係する各種調査の内容、その実施及び結果の評価などの基本的な事項を明らかにする

### モニタリング目標

#### モニタリング目標 [

ブナ林を成立させている気象・水象・地象の**基礎的環境条件**が把握されていること。

#### モニタリング目標Ⅱ

ブナ林を中心とした森林生態系が維持されていること。また、気候 変動の影響また影響の予兆を把握できること。

**細分目標ⅡA** 原始性の高いブナ林が、広域で健全な状態に保たれていること。

**細分目標IB** ブナ林における**動植物の多様性**が適切に保護されていること。

#### モニタリング目標Ⅲ

利用及び人為活動等が世界遺産登録時の価値を損なわず、かつ地域振興に役立つよう遺産地域周辺の社会状況の変化を踏まえつつ適正に管理されていること。

### モニタリング項目と評価指標

#### 別表 1□モニタリング項目と評価指標(その 1)↓

MIK : 8 C = 3 7						<b>有效冲击不压体力提出了</b>	
モニタリング目標。 大区分。				ッグ項目。 	具体的な調査項目。	自然遺産の価値を損ねる。 危機・予兆現象。 【評価指標】。	
		<b>氨</b>	(1) .	世界遺産地域及び周辺地域。	気温、降水重、積雪重、風向・風速、 湿度、日射重等。	気温の上昇、泰爾・強風の多発、積雪量の 少などにより白神山地の生態系等を脅か。 ほど、気象が変化する。」	
	1.1		(2).	森林内徽氛集。			
I ブナ林を成立させて	2.,	水象,	(1).	主要河川における水質・流量。	水質(pH、濁度、栄養塩類、化学物質等)、流量。	、流量。 系等を春かすほど、水象が変化する。。	
いる気象・水象・地象の基礎的環境条件			(1).	地形(地すべりを除く)。	広域的な地形区分図、崩壊地の変動 の状況。	崩壊・地すべりの発生、雪崩植生地の減少、 高山植生域・湿原域の変動等により白神山地	
が把握されていること。	3.,	地象等。	(2)	全域の地表被覆、特殊地形の把握。	森林、潅木林、草地、崩壊地、開発 地 (道路、 ダム)等の現況 。	の生態系等を脅かすほど地象等が変化する。 【大規模な崩壊や地すべり等のうち生態系 に影響を及ぼすおそれの著しい自然災害は 報告されていない】。	
	(1)、放射線量。	<del>ን</del> ጠ (h	(1)。放射線量。		a		
		農業	a	1			
		ブナ林等の森林構造。	(1).	固定サイトにおける森林の変動 把握。	個体毎のブナの生育、階層構造、下 層植生、生産量の変化。	ブナ林の生育状況、ブナ林の更新状況、ブナ 分布域、階層構造、ブナ生育本数(枯損本数	
	1.,		(2),	森林の面的な変動。	林相、植生の変化。	※ と進級本数の差)に著しい変化が見られる 【ブナ分布エリアの縁辺部でブナの生息】	
II A 原始性の高いブナ林			(3)	ブナ集団の遺伝的多様性と空間 遺伝構造。	ブナ集団の遺伝的多様性と空間遺 伝構造。	関して継続的かつ著しい変化は報告されて   い ない】。 	
が、広域で健全な状 態に保たれているこ と、						  病害虫被害、気象害の発生・拡大によりブナ   妹を嫌話する主要が継まの未帰が減少が目	

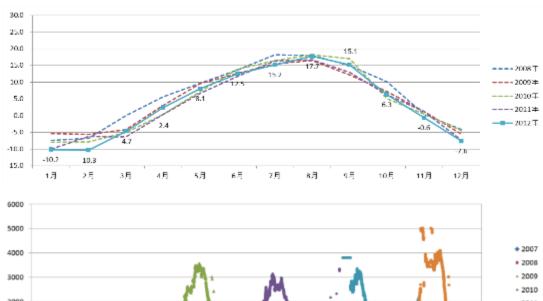
#### モニタリング目標I

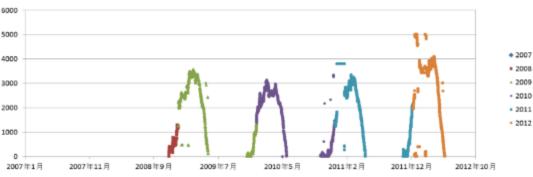
ブナ林を成立させている気象・水象・地象の基礎的環境条件が把握 されていること。



#### 気象観測調査

遺産地域とその周辺3カ所に気象計測施設 を設置し、気象の変化を調査





#### モニタリング目標Ⅱ

ブナ林を中心とした森林生態系が維持されていること。また、気候 変動の影響また影響の予兆を把握できること。

**細分目標ⅡA** 原始性の高いブナ林が広域で健全な状態に保たれていること。



#### ブナ林モニタリング調査

研究者とボランティアで立ち上げた調査会、環境省との協働体制で調査を継続している。



#### モニタリング目標Ⅱ

ブナ林を中心とした森林生態系が維持されていること。また、気候 変動の影響また影響の予兆を把握できること。

細分目標 IIB ブナ林における動植物の多様性が適切に保護されていること。



#### 中•大型哺乳類調查

林内に自動力メラを設置し、哺乳類の生息 状況を調査。また、森林生態系への影響が 懸念されるニホンジカ、外来種等の侵入状 況を調査。



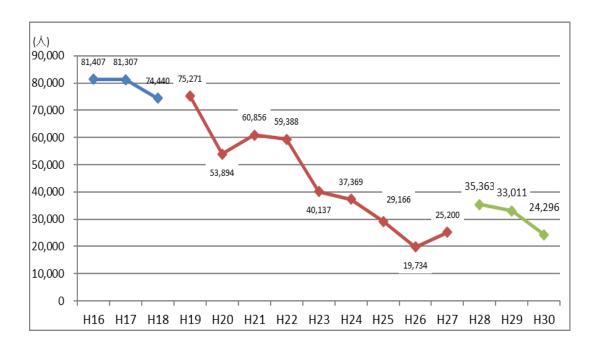
#### モニタリング目標Ⅲ

利用及び人為活動等が世界遺産登録時の価値を損なわず、かつ地域振興に役立つよう遺産地域周辺の社会状況の変化を踏まえつつ適正に管理されていること。

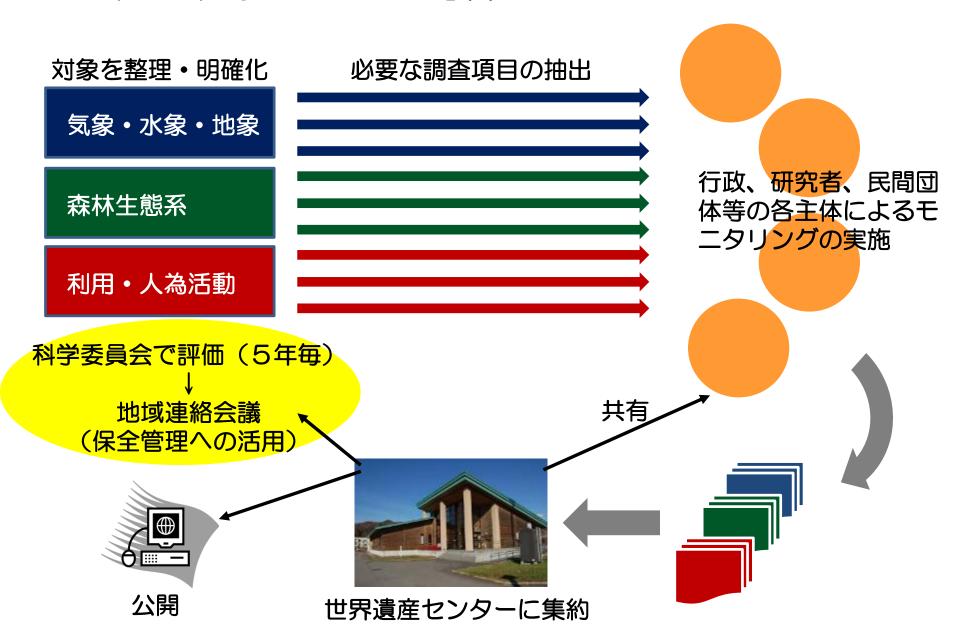


#### 入山者数調查

遺産地域周辺の登山口など13カ所に自動計測 機器を設置し、入山者数の動向を調査



### 成果の取りまとめ・評価



**建筑者 東北地力環境事務所** 建精金 東北地方建筑家務所



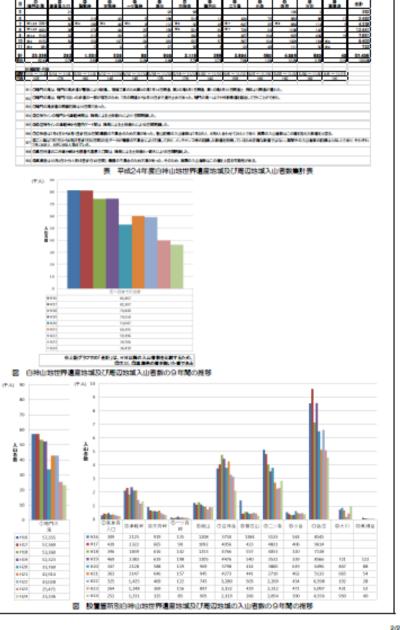
「ID」「投稿レベル」「保管形式」「保管機能」について出記入しないこと。

**16省東北地方環境事務所** 西巴里自然保護官事務所

F036-1411 青森県中華新聞四日間村大学田代学神田61-1 EL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635

- き2) ドロップダウンリストから報告する項目を選択すること。
- (表記) 製画する面目の口をクリックし、チェックを入れる。

問い合わせ



傷害

1/2

#### 白神山地世界遺産地域モニタリング計画

白神山地世界遺産センター

東北地方環境事務所 > 白神山地世界遺産センター > モニタリング計画

#### 白神山地世界遺産地域モニタリング計画

自神山地世界遺産地域の長期にわたる自然環境の変化を把握し保全管理に活かしていくためには、気象等の基礎的環境条件をはじめ、ブナ林とそこに生息・生育する動植物の多様性や人為活動の及ぼす影響などを総合的にモニタ リングしていく必要があります。

このため、白神山地世界遺産地域連絡会議では、大学・研究機関、その他の学識経験者などと連携して自然遺産のモニタリングを推進するための、モニタリング計画を作成しています。

白神山地世界遺産地域モニタリング計画(PDF)

モニタリング計画に基づく調査の実施状況や結果概要は以下よりご覧いただけます。

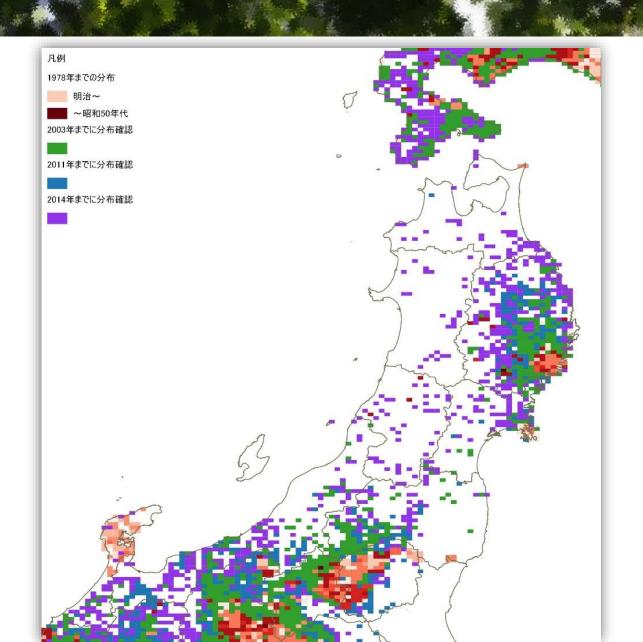
- No.	モニタリング項目				- - 異体的な調査項目	結果概要
モニタリング目標		大区分		Ħ		
	1	気象	(1)	世界遺産地域及び周辺地域における気象情報	気温、降水量、積雪量、風向・風速、温度、日射量等	
			(2)	森林内微気象	気温、地温、林内温度、最深積雪深	
	2	水象	(1)	主要河川における水質・ 流量	水質(pH、濁度、栄養塩類、化学物質等)、流量	
I. ブナ林を成立させている気象・水象・地象の基礎的環境条件が把握されていること	3	地象等	(1)	地形 (地すべりを除く)	広域的な地形区分図、崩壊地の変動の状況	
			(2)	全域の地表被覆、特殊地 形の把握	森林、海木林、草地、崩壊地、開発地 (道路、ダム) 等の現況	
	4	その他	(1)	放射線量		
			(2)	農薬		
II A. 原始性の高いブナ林が、広域で健全な状態に保たれていること	1	ブナ林等の森林構造	(1)	固定サイトにおける森林 の変動把握	個体毎のブナの生育、階層構造、下層植生、生産量の 変化	
			(2)	森林の面的な変動	林相、植生の変化	
			(3)	ブナ集団の遺伝的多様性 と空間遺伝構造	ブナ美団の遺伝的多様性と空間遺伝構造	
	2	ブナ林等に対す る影響	(1)	森林病害虫及び被害状況	ブナアオシャチホコ被害、ナラ枯れ、マツ枯れ等の発 生状況	
			(1)	植物相	植生、希少植物、分布限界種、里山植物、外来植物等 の現況	
	1				生状況 植生、希少植物、分布限界種、里山植物、外来植物等	

白神山地世界遺産地域の紹介	7
保全管理	
調査研究	
環境教育	1
エコツーリズム	
白神山地への入山について	
西日屋館	
藤里館	-
アクセスマップ	-
フォトアルバム	
リング集	
報告書	-
モニタリング計画	
アクティブレンジャー日記	
English	

# 白神山地におけるニホンジカ

- 白神山地を含む青森県や秋田県にはかつてはニホンジカが生息していたが、狩猟圧の影響等により明治から昭和初期にかけて絶滅。
- 平成22年頃から白神山地周辺でニホンジカが 目撃され始める。
- ・ 平成24年から地域連絡会議において対策に 向けた検討を開始。

## 東北地方におけるシカの分布(2014)



## 白神山地世界遺産地域ニホンジカ対策方針

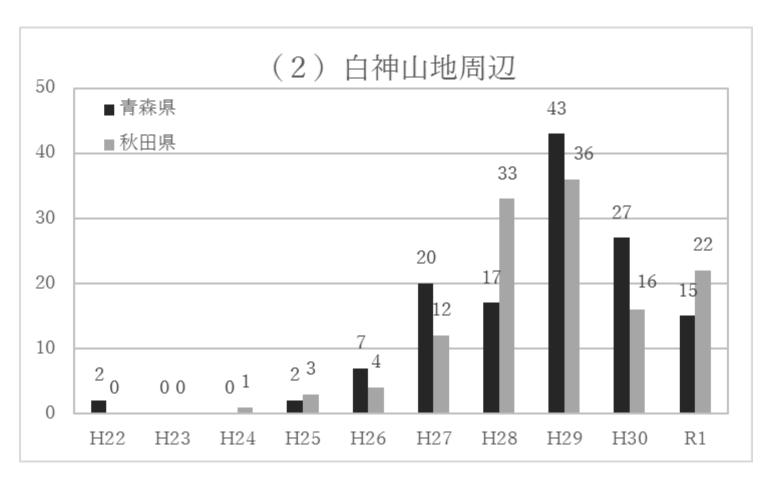
目的: 将来的にシカの生息域が遺産地域へ拡大した際、その動向と影響を早期に把握し、影響低減策を速やかに実施できる体制を整える。

実施内容:1)シカ生息状況の把握(遺産地域内・外)

- 2)植生モニタリングの実施(遺産地域内)
- 3)捕獲体制の構築(遺産地域外)

## ニホンジカ生息状況の把握

#### 白神山地におけるニホンジカ目撃情報の推移

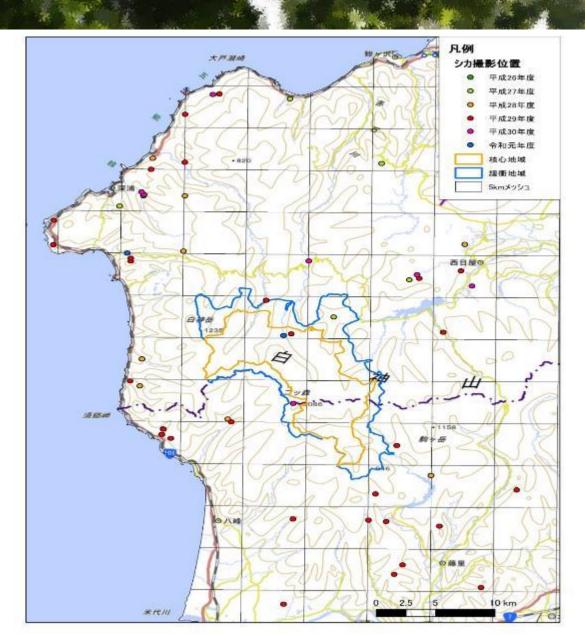


青森県自然保護課、秋田県自然保護課 提供 (令和元年は1月まで)

## ニホンジカ生息状況の把握

自動撮影カメラによる撮影位置図(年度毎)





## 二ホンジカ生息状況の把握

ライトセンサス調査→4年間実施し、シカは確認されなかった。



・咆哮調査(ボイストラップ法)
 →H30年に7台、R1年に17台設置し、
 咆哮は確認されなかった。



### これまでの調査結果の考察

- 海岸線沿いなど低標高地では、侵入してきたオス個体の定着が始まっている可能性がある。
- ライトセンサス、咆哮調査(ボイストラップ法)の 結果から、依然としてかなりの低密度であること が示唆されている。
- ・メスの侵入は確認されていないが、今後はメスの動向を注視していく必要がある。

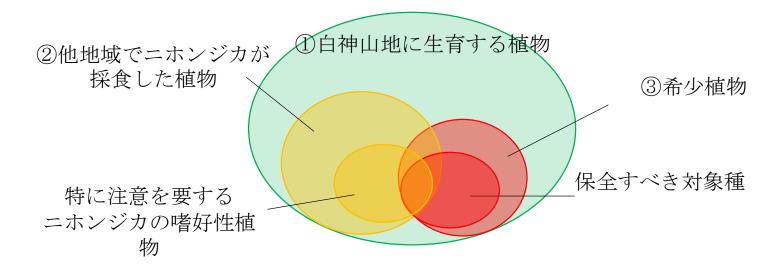
### 植生モニタリング手法の検討

#### 目的:

シカの影響を受けやすい植生の状態を把握することで、遺産地域の顕著で普遍的価値の状態を把握する。

#### 方法:

遺産地域の既存資料や他地域の事例収集、有識者ヒアリングにより、モニタリングが効果的に行えるニホンジカの嗜好性が高い植物の抽出を行い、そのモニタリング手法の検討を行う。



## 捕獲体制の構築

青森県•秋田県

第二種特定鳥獣管理計画(ニホンジカ)の策定 (平成29年~)

- •指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲事業
- •研修会等による捕獲の担い手の育成



平成31年2月 青森県捕獲事業による捕獲

## 捕獲体制の構築

#### 効率的な捕獲に向けた越冬地の把握

残雪期に確認されたシカの痕跡





#### 各種データの解析による越冬適地の抽出

①遺産地域周辺での広域的なシカ情報の収集・地図化



②他地域個体追跡調査事例の解析



③遺産地域周辺での越冬適地、移動経路(侵入・季節移動)

(年月日、雌雄、成幼別に整理)